

## 岩倉市のめざすべき方向と人口の将来展望について

### 【背景】

○国の長期ビジョンでは、国民の希望が実現した場合は2030年に出生率1.8程度まで、2040年に2.07程度に向上すると見込んだ上で、2060年に1億人程度の人口を確保するとしている。

○愛知県人口ビジョン(策定済)においても、出生率を国と同様の1.8、2.07程度まで向上するとして推計を行い、2060年に700万人の人口確保が県として活力を維持する上での人口の目安として示されている。

○現在、中間見直しを進めている第4次岩倉市総合計画のまちづくり戦略では、子育て世代の移住・定住(世代循環)を促すとして、今後5年間も引き続きまちづくり戦略の実現に向けて取組を進めることとしている。

### 【めざすべき方向】

○岩倉市が単独で出生率の上昇に向けた取組をするのは難しいが、結婚・出産を望む人が安心して結婚や出産ができるような環境を整え、プロモーションにより、若い世代を呼び込み、本市で出産し、子育て期を過ごし、愛着を持って、定住をしてもらえるような施策を進めることで出生率の向上に努めることとする。

○30代前半及び幼少期の住宅事情による転出をあらゆる施策から防止するとともに、市外から新婚世帯・子育て世帯を中心とした世帯を多く迎え入れることで、世代循環を促し、一定の人口減少を受入れながら、活力を保ち、持続可能な岩倉市を目指すこととする。

⇒岩倉市でも人口ビジョン素案で示したように2030年までに出生率1.8、2040年までに2.07に向上すると見込むこととする。

⇒岩倉市の強みである交通の利便性や住環境の良さ、過去から推し進めてきた良好な子育て環境を全面に押し出し、年間10世帯の40歳未満の家族が転入増過となることを見込む。

### 【人口の将来展望】

○国・県の出生率の見込みと歩調を合わせ、出生率増加を見込みつつ、年間10世帯の40歳未満の家族が転入超過となる前提で推計し、**2040年で43,000人程度**の人口を目指す。